重文札幌農学校第2農場農機類標本台帳

一般名称: 脱稈室展示の粗飼料生産機械	現地の通称: 展示概説

資料種別: ◉製品-実物 ○製品-レプリカ ○製品-模型 ○製品図面 ○写真等 ○図書掲載 ○その他

資料種類:
- ☐人力用具 ☐手押式 ☐耕耘用 ☐調製用
- ☐畜力用具 ☐乗用式 ☐施肥播種 ☐施設類
- ☐原動機具 ☐牽引式 ☐管理用 ☐機素
- ☒トラクタ具 ☐定置式 ☐収穫用 ☐その他

管理プレートNo.

台帳No.

相手先番号等

配置位置メモ

脱稈室100

製作者・会社:

製造市・国名

製造年_購入年,標本収集年:

使用目的・使用方法等

脱稈室の粗飼料生産用トラクタと作業機類

1953年に北大農場がわが国で初めてを購入した一連の粗飼料生産作業機で、その後の牧草とコーン生産調製機械化の先駆的な標本群である。特にJD2010トラクタを動力源に、同機用サイドマウントモーア、ヘイコンディショナ（ヘイコン）、テッダ、レーキ、ベーラ、フォレージハーベスタからなる作業機群は、（以下は下段の項に続く）

利用経過_収集記録_意義等

個々の作業機がようやく入り始めるときに、一連の作業機を揃えて作業体系として紹介し、短期日に効率的に収穫しないと栄養価の高い粗飼料が生産できないことを周知させた功績が大きい。なお、これ以外にグレンドリル、ヘイホーク各種と畜力用からトラクタ用へと改造するモーアの事例を示して粗飼料機械を網羅して貴重な標本となっている。　また、別室展示のコンバイン類とバインダーを収録する。次頁以降に、機種別の解説をする。

仕様書_解説等

右写真は展示状況
下図は、1960年代までの畜力作業体系と1970年代以降のトラクタ機械化体系の図

右に全体図

外観特色関連図等

資料の所在

収穫調製室

資料管理経過

収穫調製室は、当初は蒸気機関、後にモータを設置した「原動機室」、原動機駆動の回転軸と各種寸法のプーリを組合せた動力軸を装備して脱穀や籾摺りなどを行うた「脱稈(ダップ、稈はもみ殻の意、常用漢字外)室」、穀類の精選や包装作業を行う「調製室」が並んで配置されている。（以下、追記文欄①へ続く）

作業メモ・追記文

続き①　ここで調製された生産物は鼠返しを付けた独立家屋の「穀物庫」に収納されてきたが、ベルトコンベアが入って調製室と穀物庫間にコンベア通路が追加されたため、穀物庫が独立家屋でなくなった。

台帳管理番号 S70 1